

令和7年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市社会福祉研修・情報センター
施設所管課・担当	福祉局生活福祉部地域福祉課（担当：垣内・西田）
条例上の設置目的	社会福祉に関する各種の情報を総合的に提供し、社会福祉に関する知識の普及・啓発等を行うとともに、社会福祉に携わる人材の確保及び育成を図ることにより、市民の福祉の増進に寄与することを目的とする。
業務の概要	(1) 福祉・介護人材の確保・定着・育成に関する業務 (2) 社会福祉に関する普及啓発・情報提供 (3) 社会福祉に関する調査研究 (4) 貸室業務 (5) 施設の総合管理 (6) 建物及び附属設備の維持保全業務 等
成果指標	研修受講者満足度評価指数/研修受講者目的達成率/研修定員充足率
数値目標	5段階評価で4.48以上/85.6%以上/77.2%以上
指定管理者名	社会福祉法人大阪市社会福祉協議会・太平ビルサービス大阪株式会社共同体
指定期間	令和7年4月1日～令和12年3月31日（5年間）
評価対象期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	研修受講者満足度評価指数	研修受講者目的達成率	研修定員充足率
数値目標	5段階評価で4.48以上	85.6%以上	77.2%以上
年度実績	4.46	87.8%	81.6%
達成率	99.6%	102.6%	105.7%

利用状況

	当年度	前年度	前年度比
貸室利用延人数	41,295	41,601	-306
貸室利用率	50.2%	49.3%	0.9%

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	136,238,200	138,274,000	0	－
	計画	136,238,200	138,274,000		
利用料金（使用料）収入	実績	0	0	0	－
	計画	0	0		
自主事業収入	実績	2,121,726	2,323,934	11,726	有料複写機収入の増
	計画	2,110,000	2,220,000		
その他収入	実績	27,699,881	27,242,450	-2,910,063	計画では、定員充足率100%として参加料を積算しており、計画より認知症研修の定員充足率が減少したことによる参加料の減
	計画	30,609,944	28,964,100		
合計	実績	166,059,807	167,840,384	-2,898,337	-
	計画	168,958,144	169,458,100		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	79,146,898	80,990,608	1,474,382	給料の増額改正による増
	計画	77,672,516	80,567,597		
物件費	実績	82,249,987	81,179,448	-2,907,381	光熱水費の減
	計画	85,157,368	84,348,503		
修繕費	実績	3,500,000	1,281,709	0	－
	計画	3,500,000	3,030,000		
自主事業支出	実績	1,512,292	1,535,477	-600,108	備品購入計画の変更に伴う減
	計画	2,112,400	2,190,000		
その他支出	実績	0	0	0	－
	計画	0	0		
合計	実績	166,409,177	164,987,242	-2,033,107	－
	計画	168,442,284	170,136,100		

令和7年度 指定管理者年度評価シート

4 管理運営状況の評価（1次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
研修受講者満足度評価指数 5段階評価で4.48以上	99.6%	B	－
研修受講者目的達成率 85.6％以上	102.6%	B	－
研修定員充足率77.2％以上	105.7%	B	－

（2）管理経費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
施設の管理運営について、迅速性を担保し、効率的な対応を確保するため、設備等の施設管理業務を専門の事業者に再委託し、指導・監督を行うとともに、法令に基づく点検を含め定期的に点検を実施し、修理・交換が必要な場合はできるだけ早く対処することで施設の長寿命化を図っている。	B	設備等の不具合があった場合、設備修繕等管理表により不具合の内容をまとめている。この内容をもとに修繕計画を立て修繕し、施設の長寿命化を図っている。

（3）管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	・建築物や設備の法定点検を適切に行っている。 ・修繕箇所が判明した場合、大阪市へ速やかに報告するとともに、管理表として一覧にし、修繕が行われるまでの経過をまとめている。 ・誘導灯の取替や、破損したトイレウォシュレットの取替工事等、きめ細かにメンテナンスを行い、大きな故障等が起こらないように努めている。
事業計画の実施状況	B	・当初事業計画通りの研修開催ができている。 ・研修等の取組を効果的に実施するため、大阪市福祉人材養成連絡協議会において、福祉現場の業務改善に関するアンケートを実施し調査・分析を行った。 ・研修案内や受付等の受講者管理事務の効率化及び事務経費の削減を図るため、WEBデータベース型の業務アプリ構築クラウドサービスの導入に向けて取り組んでいる。
施設の有効利用	B	・エントランスホールにて障がい者作業所の物品販売を行っている。出店日数は30日、参加団体は17団体となっており、いずれも昨年度より増加している。
社会的責任・市の施策との整合性	B	・ごみの分別、紙の裏面利用や縮小コピーの活用によるごみの減量、節電等に環境に配慮した取組を行うとともに、経費の削減に努めている。

5 利用者ニーズ・満足度等

・研修直後に受講者に対し、満足度に関するアンケート調査を実施したところ、5段階評価で年間平均4.46となった。 別紙「令和7年度 研修事業報告書（総括表）」のとおり。 ・利用者アンケート （1）調査方法 はーとフェア参加者、研修受講者、図書室利用者、貸室利用者を対象にアンケートを実施 （2）回答者数 609人 （3）質問項目 （ア）基本属性（年代、居住地、所属先等）、（イ）利用状況等、（ウ）評価等、（エ）自由意見 （4）結果 ・来館頻度について、回答者の54.7％が「2回以上利用したことがある」と回答しており、複数回にわたって利用される方が半数以上いる状況であった。 ・スタッフの対応について、「とても良い・良い」との回答が95.7％となっており、研修・情報センターの職員への印象については良好である。 ・施設の外観について、「とても良い・良い」の評価が92.3％であった。 ・研修・情報センターのX・Facebook、情報紙「ウェルおおさか」の認知度について、X・Facebookを「見たことがある」は7.1％に対し、「ウェルおおさか」を「見たことがある」は62.1％であった。 ・施設の利用に関する満足度については、「とても満足」と「満足」の回答を合わせると90.9％となっており、利用した満足度は高い状況となっている。

令和7年度 指定管理者年度評価シート

6 外部専門家意見

・各事業を計画どおりに実施し、施設利用者の満足度も高く、全体として良くできており評価できる。
・研修事業の成果指標について、全体として数値目標の設定が高いため、「B」より高い評価になることは難しい状況にあり、目標に達していない指標もあるが、個々の研修においては受講者評価の高いものも多く、また「よこいと座談会」といった各事業所の横のつながりづくりを促進する取組も実施しており評価できる。一方で、受講者評価は高いが、定員充足率の低いものもあり、研修内容の周知方法を検討してもらいたい。
・貸室事業について、目標の利用率に達しているものの、利用率が伸びていないことから、活用方法の周知や使用条件の緩和等、利用率向上のための方策を検討してもらいたい。
・収支状況について、人件費の圧縮を図る等工夫をして運営し、収支の改善を図ってもらいたい。
・事業運営においては、将来を担う人材をいかに確保・育成するかが重要である。若年層に向けた情報発信や魅力発信に取り組み、次世代に魅力あるセンターとなるよう運営してもらいたい。また、自主事業にも積極的に取り組み、各事業の完成度をさらに上げてもらいたい。

7 最終評価

評価項目		評価	所見
成果指標の達成		B	研修に係る成果指標について、概ね数値目標を達成している。
市費の縮減		B－	収支状況は赤字であり、人件費の圧縮を図る等、収支改善に向けて工夫をする余地がある。
管理運営の履行状況		B＋	・各設備の点検や維持保全業務を適切に実施できている。 ・各事業を計画どおりに実施できており、施設利用全体として利用者から高い満足度を得ている。
施設の設置目的の達成及びサービスの向上			
施設の管理運営			
事業計画の実施状況			
施設の有効利用			
社会的責任・市の施策との整合性		B	・概ね本市が定める水準どおりに実施された。 ・各事業の効果を高めるため、研修等の実施内容の周知に加え、当該施設の魅力の発信にも取り組み、併せて将来を担う人材の確保・育成にも資する取組となるよう方策を検討する必要がある。
総合評価			